

# いわむら美術の館

## 旧柴田家

この建物の建築主の柴田熊次氏は、明治36年から昭和9年まで存続した、いわゆる「岩村電車」の発起人に名を連ね、丸八製糸組合の工場長を務めた人物である。その子息の忠一氏は、折からの岐阜県の農閑期の新規事業として始まった寒天産業に賛意して、昭和初期に寒天製造業「カネセ商店」を創業した。この建物はその事業所兼店舗として使用されていた。カネセ商店は岐阜県の寒天事業創成期中核的な存在であり、発祥の地である岩村町で中心的に活躍した商店である。

**原田芳洲画歴**  
 明治13年北海道に生まれ、昭和8年から岩村町新町に暮らす。京都山本醒洲画伯に師事。全日本画家協会会員、公募美術展八回入選、元岐阜県美術家聯盟第五部会長に推挙される。全国肖像画甲種美術保存資格者の認定を受く。美術保存資格者交易展出品、丸芸九技作家展出品、全日本肖像画家聯盟会員、文化人肖像画展無鑑査、日本肖像美術協会委員に推挙される。日本肖像美術展無鑑査、無所属、平成15年2月逝去。

肖像画作品の一部  
 東郷元帥像  
 下田歌子女史像



八畳(一)より各室を見る



重要伝統的建造物群保存地区  
 史記と懐古の探訪

